

留学報告書 2016 年 12 月

University of Oxford, Department of Computer Science

五十嵐歩美

こんにちは。オックスフォード大学に留学している五十嵐歩美です。PhD の 3 年目に突入り、忙しさが増している今日この頃です。2016 年 7 月から最近までの出来事を書きます。

2016 年 7 月 – 8 月

今回の夏も、研究会や旅行等で色々な場所に行きました。まず、7 月の前半はフランス・パリの École des Ponts ParisTech に研究訪問しました。訪問先の先生は組合せ最適化の研究者で、昨年彼の論文を読み質問したことがきっかけで一緒に研究することになりました。1 年目から興味をもっていたトピックについて議論できたので、短かい滞在ではあったものの、非常に楽しくかつ有意義な訪問でした。7 月の後半は、スペイン北部の San Sebastian で行われた Computational Social Choice の Summer School に参加しました。指導教員もスピーカーとして参加していて、美しいビーチを楽しみつつ研究も進めながら濃密な 1 週間を過ごしました。天気にも恵まれました。スライドはこのリンク (<http://www.illc.uva.nl/COST-IC1205/Resources/Teaching/>) で見れます。8 月の前半は、2 週間ほど日本に帰国していました。学会に参加したり、友達に会ったり、親戚の家に行ったり、楽しい 2 週間でした。



2016 年 9 月 – 11 月

8 月後半から 9 月前半にかけて、6 月後半から進めていた研究を論文にまとめ、AAAI という人工知能の国際学会に投稿しました。投稿締め切りの 2 週間前の時点で十分な結果が揃っておらず、夜な夜な証明をしつつ論文を書くというハードな時期でした。不安はあったものの、幸運にも査読者から予想以上の好評価をもらい無事に受理されました。もしも興味のある方がいたら、目を通していただくと嬉しいです。

A. Igarashi, D. Peters, and E. Elkind, “Group Activity Selection on Social Networks,” AAAI 2017, to appear.

10月に、また新たな学期が始まり、Computational Game Theory という比較的新しい講義の TA をしました。隔週ごとに、10人ほどの学生の Problem sheet の採点と解説を担当しました。思った以上に採点が大変でしたが、ネチネチ指摘した甲斐があつてか、きちんとした論理的な展開で証明が書けるようになった学生もいて、教えるやりがいを感じることができました。

これから

これからの3ヶ月は、1月にシンガポールに研究訪問、2月にサンフランシスコで学会出張などなど、イベントが目白押しです。何より健康に気をつけつつ、頑張りたいと思います。